

日計表の説明

概要説明

シグナル総勝率 損切り地 (実処分値) パラボリック値	通常、約60～75%をキープ。損切りも忘れず。弱いサインも参考にしてください 実際には、当社ソフトで自動損切りになるが、原則 損切りの後は、次のサインから仕掛ける 取引が終わってから、手入寮で補正する。 回数/SARIは出来るだけ1の藻を利用。出来ればH、L、Hなどのように交互に出てくるのが望ましい 3以内にとめておく(それ以上になると手仕事しい、 仕掛け待機した方がよいかと考えます)
仕掛け別純損益	スリッページを考えない参考値です。遅れもありますの、ご注意ください 出来れば、買いは買いの仕掛け専用のPC、売り リスクヘッジのため、但し、先の方法は証券会社によってはソフトの は売り専用のPCにてそれぞれ発注・清算をする や口座開設について、複数ライセンスが必要な場合があります。 方が好ましいと考えます。 詳しくは、各証券会社にお尋ねください。
手数料	各証券会社によって違います。 詳しくは、各証券会社にお尋ねください。
次開始シグナル	次の半日の灰指示の価格についての良そうです あくまでも参考値としてご利用ください 50～70%程度の的中率 尚、この当否は概ね下記の判断基準により判定。(3つの判定基準で) 開始から5分未満の動向が： 上昇：±10～20円程度(又は計算・推定不能) 下落：+30円程度以上の上昇で始まる 変化小：-30円程度以上の下落で始まる

参考：本日計表は半日ごとの取引明細として、まとめたものです。通信・PC環境の関係から遅れや売買価格ズレが発生することがありますが、あくまでも参考の値にしてください。但し、自動集計なので、ごまかしや嘘は一切ありません。尚、当方は複数代のシステムで勝負をしているため、計算ソフトのバージョンアップ(改善)で機差が生じる場合が有ります。その場合は、当日の投資結果がシステムの中で一番良いものを日計表に採用する時があります。その時は月計表についてはその値を対応させるようにしています。